

第8期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

市町村名	平内町
所属名	福祉介護課 介護保険係
担当者名	逢坂

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

第8期介護保険事業計画に記載の内容				R3年度(年度末実績)		
区分	現状と課題	第8期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
①自立支援・介護予防・重度化防止	<p>○ 地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護給付等対象サービスの充実を図るとともに、在宅医療・介護連携の推進、認知症施策や生活支援サービスの充実など、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組が必要となる。</p> <p>○ 後期高齢者人口の増加や高齢化率の上昇に伴い認知症高齢者やうつ傾向のある高齢者が増加傾向にある。</p> <p>○ 高齢者世帯、認知症の人の増加に対応し、地域サロンの開催、見守り、安否確認、外出支援、生活援助等の家事支援を含む日常生活上の支援を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で安心して在宅生活を続けていくためには多様な生活支援サービスの整備が必要である。</p>	<p>【地域における認知症高齢者支援の取組や認知症の理解促進に向けた普及啓発活動】</p> <p>○ 認知症高齢者を抱える家族に対する相談支援や地域による見守り体制の構築を図るとともに認知症に関する知識や予防について周知啓発に努め、判断能力が十分でない高齢者が、自立した生活を送ることができるよう成年後見制度等の活用を促進する。</p>	<p>【認知症施策の推進】</p> <p>○ 普及啓発・本人発信支援及び予防対策 認知症サポーターの養成等を通じて認知症に関する理解促進や相談先の周知、認知症の本人からの発信支援を行う。</p> <p>○ 高齢者等見守り体制確保事業の実施 町、警察、消防、福祉関係者間での「みまもりシール」を活用した高齢者見守り体制確保事業を実施。認知症等により帰宅困難となった高齢者がいた場合の早期発見及び身元確認に役立つ。</p> <p>○ 成年後見制度の体制整備 一人暮らし高齢者の増加に伴い、家族を後見人にするのが不可能な利用者が増えることから、成年後見制度の体制を整備する。</p>	<p>○ 認知症サポーター養成講座及び認知症サポーターのステップアップ講座を開催</p> <p>○ ステップアップ講座を受講した認知症サポーターの中から、寸劇などの認知症の普及啓発活動に協力いただける方を、オレンジサポーターとして登録し、活動グループを形成。</p> <p>○ 高齢者等見守り体制確保事業の実施 令和3年度みまもりシール登録・配布者数：1名</p> <p>○ 地域包括支援センター内に成年後見制度の利用促進に係る中核機関を設置</p>	◎	<p>○ 認知症サポーター養成講座及びステップアップ講座は継続して実施し、認知症に関する理解促進の取組を進めていく。認知症カフェの設置、認知症本人からの発信支援の取組の検討が今後の課題。</p> <p>○ 高齢者等見守り体制確保事業については、登録者が少ない状況であることから、効果的な周知方法を検討する必要がある。</p> <p>○ 地域包括支援センター内に成年後見制度の利用促進に係る中核機関を設置することで、成年後見人制度の利用を支援する体制を整備。継続して制度の周知を図るとともに、利用者がいた場合の、関係者間の連携体制を構築していく。</p>